



祝 城川小学校開校記念式典



城川小学校開校式

平成28年度当初予算

P2 ~ P3

城川地区小学校閉校式

P15

西予市創生特別委員会報告

P18



北部宇和海エリア 「三瓶編」

才を 巡る

vol.5



さざえが岳(和泉)



魚霊塔(下泊)



かくれの里(有太刀)



シギヤマ 鳴山の姫塚(鳴山)

編集委員	
委員長	副委員長
二宮 一朗	田中 徳博
源 正樹	陽 純一
井関 陽一	菊池 敬治
中 徳博	兵頭 学

編集後記

今年度当初予算が300億円、特別会計・公営企業会計を含めると500億円を超え、過去最大の予算になりました。これは、西予市の基礎基盤を継続的に繋げていく予算で、自立できる行政を目指すものであり、市民の皆様のご理解をお願い致します。

今回の発行で、改選期を迎えるため5月以降は新メンバーに変わりますが、今後ともご愛読よろしくお願致します。

300億5800万円

過去最大の当初予算を可決!

3月定例会

3月定例会



常備消防施設整備事業 3770万円

救急自動車1台と惣川地区にへりポートを整備する事業費



宇和学校給食センター建設事業 10億2359万円

平成29年4月からの供用開始を予定し、本体等建設工事を実施する経費



地域の粗大ごみ回収事業（倭津スマイル）

せいよ地域づくり交付金事業 9682万円

これまでの補助金による自治会支援から、地域自ら考えて地域の課題へ取り組むための経費

一般会計主な新規事業

- | | |
|---------------------|--------|
| 1. 明浜支所庁舎建設事業 | 1988万円 |
| 2. 野村支所庁舎改築事業 | 52万円 |
| 3. 駅前エリア整備事業 | 6114万円 |
| 4. 商店街エリア整備事業 | 3914万円 |
| 5. 特定不妊治療助成事業 | 261万円 |
| 6. 創業支援実践事業 | 939万円 |
| 7. ふるさと就業創出奨励事業 | 240万円 |
| 8. SEA TO SUMMIT事業 | 150万円 |
| 9. せいよを売り込むプロジェクト事業 | 798万円 |
| 10. いきいきスポーツ振興事業 | 294万円 |
| 11. 子ども教育振興基金事業 | 4437万円 |

平成28年度一般会計の歳入歳出当初予算を
300億5800万円とする。

※予算額につきましては、万円未満を四捨五入の数字です。



市道石城地区15号線(宇和町)

市道新設・改良事業 8億6561万円

明浜3路線・宇和13路線・城川6路線・野村8路線・三瓶2路線の道路改良事業費



西予開成塾 子ども編

次代を担う人財育成事業 598万円

西予開成塾を発展的に継承し、愛媛大学と連携し異能人材を育てる教育を実践する経費

3月定例会
平成28年第1回定例会が2月29日から3月17日まで会期18日間で開催されました。
条例制定9件、条例改正16件、平成28年度当初予算13件など、理事者提出議案66件を原案可決決定、その他22件を承認・同意しました。
代表質問には1会派、一般質問には5名が登壇し、市の諸課題について質問しました。

地域包括ケア病床設置へ

24時間救急体制の 早期整備を

厚生常任委員会

総務常任委員会

厚生 常任委員会

総務 常任委員会

地域包括ケア病床

Q どのようなものなのか。

A リハビリ専門の理学療法士を配属し在宅への復帰を支援するもの。4月から野村病院で、29年度から市民病院も設置予定である。

公営企業部(病院事業)

認知症予防

Q 健康づくりの観点からどのように取り組むのか。

A 生活習慣病の発症、重症化予防を徹底し、身体機能の維持向上と心の健康づくりを推進し、予防に努める。

健康づくり推進課

簡易水道

Q 改修、修繕に対する地元への助成は。

A 建設改良は工事費の1割の補助。修繕は5万円以上に対し、その3分の1の補助である。

水道課

明浜地区と城川地区へ配備を

Q 救急体制の整備は。

A 国から救急隊編成人員の規制緩和の方針が出されており、法整備や基準改正に合わせて早急に人員配置や体制整備に取り組む。

消防総務課

明浜支所はどうなるのか

Q 建設事業の概要は。

A 移転候補地は旧高山小学校である。防災機能を有した施設とし、平成28年度に道路整備に係る地権者等と協議に入る。

総務課

地域防災力の向上を

Q 防災士育成とその役割をどのように考えるのか。

A 平成27年度中に防災士連絡協議会を結成し横の連携を図り、組織率100%となった自主防災組織と共に進める。

危機管理課

周木診療所が新築移転



三瓶町(周木)

新築の周木診療所を視察しました。

旧周木保育園跡地に建てられ医療機器も引越して、3月30日に開院式を、31日から診療を始めました。

二及診療所と一日替りでの診療体制です。

より充実した医療拠点の完成となりました。

車両事故救出訓練を視察



西予市消防本部

西予市消防本部で、車両事故を想定した救助訓練を視察しました。万が一の事故や災害に備えて日頃から高度な訓練を重ねています。

また、平成27年度に更新した緊急消防援助隊仕様の救助工作車が配備されたことで、より高いレベルでの活動が可能となり、市民の安全安心に貢献できます。

陳情

まつば共同作業所新築移転についての陳情書

(継続審査)

採択(賛成多数)



老人クラブの活動支援

Q 助成金基準と支給額は。

A 県補助基準に基づき、151の単位クラブへ236万円、市連合会へ53万円。市単独として、6,900人×200円の138万円の助成をしている。

高齢福祉課

市立病院看護師等奨学資金

Q 奨学金貸与者5名の予算措置だが確保に努力を。

A 今後退職する看護師も多く、本制度を利用しての看護師確保に努めたい。

公営企業部(病院事業)

10年先を見据えて

Q 第2次西予市総合計画の基本計画策定の時期は。

A 基本構想策定と同時並行に計画案を策定しており、関係部課と協議の上、平成28年4月末には策定したい。

総合政策課

えひめ国体に向けて

Q 平成28年度実施の国体リハーサル大会の概要は。

A 7月に第56回全日本実業団女子ソフトボール選手権大会、8月に第55回全国教職員相撲大会を開催する予定である。

文化体育振興課

公民館と地域づくり

Q 地域づくりと公民館事業の連携をどのように進めるのか。

A 公民館活動は、地域性による違いが大きく、社会教育の視点を大切に、どう連携していくのか今後も続けて協議を行う。

生涯学習課

西予市が南予の中心となるための政策は

副市長 インターチェンジ付近を準工業地域に



松山 清

副市長 オフサイトセンター近くにはヘリポートの建設が予定されており、県とも連携して市の役割を果たしていく。また、南予の中で流通

問 「西予市を南予の中心に」という思いを持つ市民は多いが、防災の中心・流通の中心としての取組は。西予宇和ICを核とした流通・生産などの企業進出を促進するためにも、土地の有効活用や幹線道路の整備に取り組み必要があるのでは。

問 地方創生によって、西予市産材を活用し都市部で住宅を販売して西予市総生産を向上させるといふフォレストスタイル事業に取り組みはできないか。

産建部長 フォレストスタイル事業は、多様なニーズに応えられ、市産材の活用につながる可能性がある。市内の工務店・設計事務所などの組織体制が不可欠であり、当市での事業の実現性を検討したい。

問 田園ロマンの里構想の基金の活用は。ツルやコウノトリの施設について、研究機関との連携など、市の取り組みは。

福祉部長 基金の活用によつてある程度のツルやコウノトリのねぐらを確保することができた。今後はより多くのツル類が飛来し越冬できる環境と、コウノトリが繁殖できる環境作りを進めていく。

また、兵庫県立大学などのネットワークを活用して生息環境の改善を進めている。



伊賀上奥池(宇和町) 伊賀上ロマンの里づくりの会が作ったビオトープ

その他の質問
・区役員のなり手不足対策と行政区の見直し等について
・地域づくり交付金について
・ICTを活用した地方創生について

えひめいやしの南予博 自主企画支援

産業建設 常任委員会

南予博

Q 自主企画支援の内容は。
A 県実行委員会で助成を受けていない市民の自主企画プログラムに対して、市独自に、上限30万円の補助金を約5団体に支援。

経済振興課

バイオマスペレット

Q 利用状況は。
A 游の里・庁舎・小学校・病院・ハウス・個人で利用。平成26年度は280t、平成27年度は予測で370t。ストーブは年に平均8台助成している。

林業課

公共物占用料免除

Q 他市と比べて取り組みが遅かったのでは。
A 他市も近年改正に取り組んでいる。営利目的以外の占用について免除するもので、1350件から250件に減少する。

建設課

西予市森林組合城川製材所を視察



城川町(下相)

はじめに、林業活性化センターの取り組み、森林経営計画策定の流れや認定状況、成果や課題について説明を受けた後、施業完了した山林や間伐作業現場を視察しました。また、丸ノコを補助事業で整備した森林組合製材工場を視察。年間5,000㎡の材を加工していました。

養蚕振興

Q 桑の新・改植や後継者育成の方法は。
A 5千本の苗を準備、今春に川津南40aに移植予定。古株の改植もあるので5年間継続する。後継者として地域おこし協力隊員を募集。

農業水産課

青汁工場

Q ケールの生産体制は。(増築費5068万円)
A 西予市産は、現在年460tであるが、平成30年の工場完成時には900tの受け入れ予定である。平成27年8月に職員も2名増員している。

農業水産課

農業集落排水

Q 管理費増加の原因は。
A 下水道管への不明水流入防止対策として、管路調査のカメラ購入費850万円や宇和町神野久地区の管路修繕費が主な増加原因である。

下水道課



二宮 一郎

一般質問

市長の「福祉の国境論」を問う

市長 福祉を政争の具にすべきではない

問 市長が考える「福祉の国境論」とは。

市長 憲法においての福祉は、第二十五条において「全て国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、全ての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」とある。

法文化されている中国は、としているのは、福祉には財源が深く結びついため、国の責任を明記したものだと思う。本来、自治体福祉の役割は、法制を活用してそこに住む

人に必要なサービスと居場所を保障するべきものである。今日のような、各自治体独自の施策は、他の自治体住民の不満になる。居場所を簡単に移動できない住民を考えれば、福祉は地域間の格差をつけるべきではないので「福祉の国境論」を主張してきたところだ。

問 過疎化が深刻化しているなか高齢者が買い物に苦労されている。この問題に対する5年先の認識と対策は。

福祉部長 平成24年度の「買い物環境等アンケート」では、市内の高齢者1500人のうち、日常の買い物に不便を感じている人は41%。ひとり暮らしの高齢者では約半数が不便との回答だった。数年後、車の運転ができなくなるときのことが不安だという意見も多数あった。



高川・周木地区の移動販売

対策として「交通空白地域」の解消に向けた公共交通の運行や高齢者の路線バス利用補助事業を実施。また、地域づくり組

織と地域づくり協力隊が協働し、城川・三瓶相互で移動販売を行ったり、他の地区では、加工所で惣菜などを調理し注文を受けて配達する買い物支援などを行っている。行政の支援だけでは行き届かない面もあり、地域が主体となった積極的な取り組みが期待される。

問 独居高齢者への対策に、聴覚障がい者用の携帯電話で119番通報ができる「ガチャビー」を活用出来ないか。

消防長 携帯電話のアプリを利用した緊急通報Webシステム「ガチャビー」は、聴覚障がい者及び言語障がい者の10名が登録している。



緊急通報Webシステム「ガチャビー」

コミュニケーションが取れる方は、携帯電話から119番されることで位置情報が利用されるが、取れない方には「ガチャビー」は有効な手段です。今後は、高齢福祉課と共に活用を検討していく。

その他の質問 地域づくり交付金

「伊予生糸」の今後の対策は

産建部長 東京オリンピックのユニフォームや式年遷宮での献納を



井関 陽一

一般質問

問 農林水産省から地理的表示保護制度(GI)の認定を受けた「伊予生糸」の今後の対策は。

産建部長 GIは地域ブランドの品質確保や保護を目的とし、地域で長年育まれてきた特別な製産方法などにより、高い品質と評価を獲得した地域産品の名称を地理的財産として保護する制度である。

養蚕に特化した地域おこし協力隊については、就任直前まで進んだが辞退され、28年度も制度活用に向け予算計上をしている。また、大日本蚕糸会



生産者とともに中村知事へ陳情

の支援策活用も検討している。

今後の活用については、東京オリンピックのユニフォームや式年遷宮での献納が大きな取り組みとなる。

生産体制については、愛媛伊予生糸再生協議会と協議してきた。27年度生産農家は6戸・平均年齢79歳であり、繭生産量は1.3t。

後継者育成・生産量増が喫緊の課題であり、蚕のエサとなる桑・器具施設が必要。桑苗は5千本(5年継続)、器具は元生産者に呼びかけ収集し市で保管、施設は、離農された施設や大日本蚕糸会の支援で対応。

市長 繭4千円/kgは世界一の価格で買い取りを行っている。今後も継続してほしい。オリンピックに向けては、兵頭県議らと知事に要請に行く予定で、養蚕関係者の熱い思いを一緒に届ける。

問 TMR(混合飼料)センター・畜産団地について。

産建部長 TMRセンターは畜産農家の負担軽減には理想的な施設といえる。

県・市・JAなど畜産関係者にて「東宇和畜産クラスター協議会」が設立され、クラスター計画を作成中で、その中で畜産団地構想も含めて意見を伺う予定である。



愛媛県乳用牛共進会(野村町)

その他の質問 地産地消の現状は
・飼料稲の栽培について
・三滝ロッジについて
・入浴施設について
・空き家バンクの現状は



田中 徳博

一般質問

災害発生時の食糧供給は

宇和学校給食センターで 6,000食分提供可能

教育 部長

問 12月完成予定の宇和学校給食センターを、災害発生時の食糧供給施設として活用できないか。また、その他の対応については。

答 施設整備後は食料供給施設としてあらためて地域防災計画へ位置付ける予定である。常備約600kgの米、114mの貯水槽を完備。1人当たりおにぎり2個の計算で約6千食分が供給可能である。また、炊き出しについては、自治会・婦人会・自主防災組織・ボランティア等の応援を求め、既存



宇和学校給食センター 完成予想図(西予宇和IC付近)

の学校の給食施設、また公民館等を利用することとしているが、宇和学校給食センターも、完成後はこの役割を担うことになる。

問 避難道路としての伊賀上ノ野田バイパス整備の検討結果は。

答 中心市街地における国道56号の混雑緩和と沿道環境の向上を図るため「市街地外周道路」の一つとして都市計画マスタープランに位置付けている。しかしバイパス等の実現には膨大な費用を要するため、国や県に要望していきたい。

問 地域活性化プロジェクト「探せ！四国西予ジオの秘宝」の実施結果と今後の展望は。

答 総参加人数8363人、1840チームで、すべてのポイント獲得が52チームあり、到達スピードで順位を



その他の質問
・地震対策について
・防災グッズ等の配備について
・看板や情報の周知方法について
・西予市総合計画審議会の答申について
・えひめいやしの南予博への取り組みについて



源 正樹

一般質問

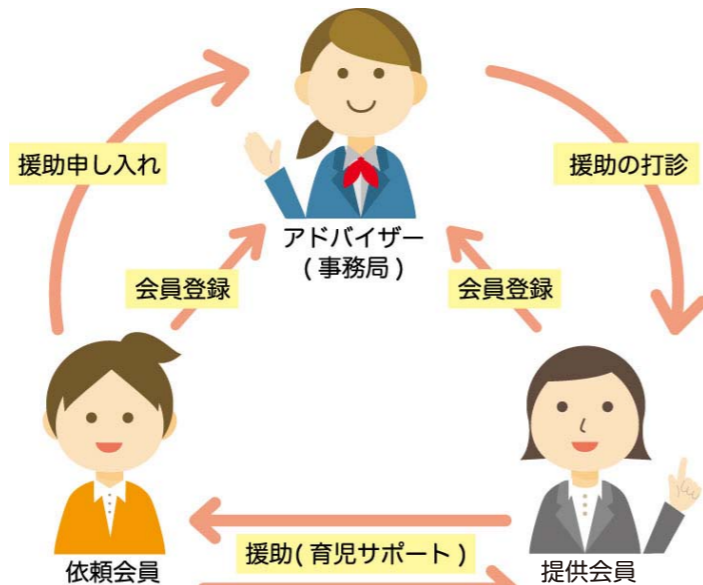
子育て支援はまちづくりの原点

来年度から新規4事業、拡充2事業に取り組む

福祉 部長

問 平成27年3月に策定された「西予市子ども子育て支援事業計画」に基づく各種支援政策の検討状況及び進捗状況は。

答 西予市子ども子育て支援事業計画は、西予市で子どもを産み、育てる環境を一層充実していくことで、「子育てするなら西予」のイメージを定着させ、各種事業を推進していくために協議や検討を重ねて策定した。その結果、来年度から新規事業として特定不妊治療費助成事業など4事業、拡充事業として支給



ファミリーサポートセンターのイメージ図

要件はあるが、保育料第3子以降無料化など2事業に取り組む。

問 ファミリーサポートセンター事業の内容は、また、センターの事業拡充の検討は。

答 地域において児童の一次的な預か

り、または外出支援について、依頼会員と提供会員を募集し、会員同士の連絡・調整を行い子育て支援を行う事業だ。会員確保の必要があり、準備が整い次第実施する。子育て世代の様々なニーズを把握しながら事業の拡充を検討していく。

問 保育所及び幼稚園の保育料の第3子以降無料化について、内容及び所得制限の根拠は。

答 少子化対策の一環として、多子世帯の育児にかかる経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境作りを目的としている。平成27年度入所児童を基とした試算では、対象児童数は118人、4130万円の保育料が減収となる見込みだ。所得制限は、他制度の所得制限と整合性を図り、国の制度を拡充させ、収入ベースで概ね1千万円未満の世帯が対象となる。



すくすくジャパンロゴ(内閣府)

その他の質問
・消防団装備品の支給状況について
・消防団詰所の整備状況について
・えひめいやしの南予博2016について



小野 正昭

三瓶地区消防のあり方は

消防長 メリットある再編を模索する

問 消防広域化推進が急務だが、現状と今後の方針は。

消防長 広域化即ち消防の合併は、市町村合併と同様に消防相互の理解が不可欠だ。愛媛県では、平成21年から県1ブロック案を、平成23年から、東・中・南予の3ブロック案で検討を重ねたが合意に至っていない。市は、最もメリットを見出せる県1ブロック案を推進する立場であるが、枠組みにとらわれず、市にメリットのある方法を模索することが必要だ。

問 西予市消防本部が三瓶地区救急を管轄すると仮定した場合、救急搬送体制への影響は。

消防長 原則、患者を守るために最優先されるべきことを現場で救急隊長が判断する。訓練を受けた救急隊員が詳細に患者を観察し、本人や家族に説明しながら搬送しており、この方針は管轄の変更があったとしても

も変わるものではなく、救急搬送体制への影響はないと考える。

問 須崎海岸遊歩道や浮棧橋の整備などジオパークを活用した三瓶地区の観光開発は。

支所長 現在、須崎海岸については、海側からのジオクルーズと陸側からの遊歩道にて見学できる。



三瓶方面隊 第三分署



須崎海岸



朝立会館

ジオパークを取り入れた観光開発を(三瓶町)

遊歩道と浮棧橋の整備は、費用対効果と台風等による自然災害を考慮して、利便性向上の見地からも研究協議を進めた。

問 三瓶町の豊かな自然と文化遺産を活用した活性化について対応は。

支所長 観光を活性化し、滞留型交流人口を増やすことを目的に三瓶町活性化検討会が結成された。

海上タクシーや屋形船を使ったジオ見学コースと、八段返し披露や人形遣い体験など朝立会館の活用を組み込んだ1、2泊ができるアクティビティ等の企画を視野に入れている。新たな魅力発進に努める。

その他の質問
・三瓶町で行った消防に関するアンケートについて
・林業の活性化について



土居小学校
— 明治8年 —
土居村に北川学校
窪野村に三滝学校開校
— 昭和46年 —
土居小学校に統合

遊子川小学校
— 明治8年 —
白岩、龍城小学校開校
— 昭和34年 —
遊子川小学校に改称



▲俳句での閉校式

城川地区 小学校閉校式

高川小学校
— 明治7年 —
鷺森学校開設
— 明治8年 —
大崎学校開設
— 昭和22年 —
高川小学校に改称



校旗返納▶



魚成小学校
— 昭和41年 —
魚成小、嘉喜尾小、下相分校が閉校統合して
魚成小学校が発足



▲運動場にて

Q1 担当業務の内容は

Q2 特に推進している取り組みは何か

Q3 市民の皆さんへのアピールをどうぞ

企画財務部



大平 利幸
企画財務部長

Q1 市内の全体政策の調整、評価、予算といった西予市全体に係る仕事と、地域づくりやジオパークの推進といった市の重要政策に係る仕事です。

Q2 どれも重要な仕事ですが、強いてあげればジオパークと地域づくり。

Q3 1点目は、今年1月末の記録的な寒波により各地で断水が発生し、市内でも120件の断水が発生しました。中でも特徴的だったのが、空き家からの漏水でした。所有者が対策を取っていただくことはもちろんですが、今後「空き家対策」の中でも検討が必要と感じています。隣近所の方々による協力体制についてもご検討をお願いいたします。

る面倒ごと。こういう感覚では、地域活性化は夢のまた夢。危機感の違いからか、市内での地域づくり活動に差が出始めていますが、自分たちの地域は自分たちで、楽しく明るく暮らせるように知恵を出しながら、創っていく、それが、今回の見直しの趣旨です。

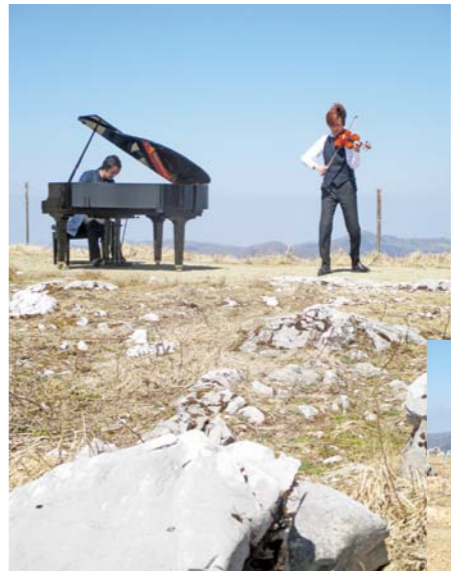
Q1 市議会は、市民病院長として「市民に親しまれ、信頼される医療」を目指し、安定的・効率的な運営に向け経営改善に努めています。

Q2 加えて、地域医療確保のため、医師・看護師など医療スタッフの確保に努めます。

Q3 2点目は、在宅ケアを支援できる体制強化と病床利用の効率を図るため、入院治療後、病状が安定した患者に対してリハビリや通院支援など、効率的かつ密度の高い医療を提供する「地域包括ケア病床」を設ける計画です。お気軽に、両病院にご相談ください。



西予ジオパーク
ミュージックコンテスト表彰式(東京)



音楽とジオの融合
(野村町大野ヶ原)

いと創れないと思っ
ます。
市民の皆さんの素直な
気持ちを、西予市や地域
がよくなるために行動し
てみませんか。

部長に問う

公営企業部



宗 正弘
公営企業部長

Q1 水道事業の運営全般と市民病院・野村病院の管理運営全般、野村介護老人保健福祉施設・つくし苑の運営管理に関する事務を行っています。

Q2 水道事業では、統合した上水道の老朽化した施設・管路等の整備や耐震化を計画的に進め、効率的な運営に努めています。

Q3 1点目は、今年1月末の記録的な寒波により各地で断水が発生し、市内でも120件の断水が発生しました。中でも特徴的だったのが、空き家からの漏水でした。所有者が対策を取っていただくことはもちろんですが、今後「空き家対策」の中でも検討が必要と感じています。隣近所の方々による協力体制についてもご検討をお願いいたします。

Q1 市議会は、市民病院長として「市民に親しまれ、信頼される医療」を目指し、安定的・効率的な運営に向け経営改善に努めています。

Q2 加えて、地域医療確保のため、医師・看護師など医療スタッフの確保に努めます。

Q3 2点目は、在宅ケアを支援できる体制強化と病床利用の効率を図るため、入院治療後、病状が安定した患者に対してリハビリや通院支援など、効率的かつ密度の高い医療を提供する「地域包括ケア病床」を設ける計画です。お気軽に、両病院にご相談ください。

議会事務局



浅野 信也
事務局長

Q1 議会事務局は、市議会の補助的機関として、議会運営・議長交際・政務活動費・議長車運行管理・委員会の各事業議会関係各種団体等との連絡調整を行っています。

Q2 市議会が地域社会の政策提言・政策立案するため、材料探し等の支援・補助に努めています。

Q3 市議会は、市民が公

システムなどの活用方策の構築を図りたいと考えています。

Q3 議会は、市民が公選した議員により組織され、市民の意思を代表・決定する合議制の機関です。

市長部局を執行機関、市議会を議決機関とい

い、双方共に車の両輪のように、市政発展のために活動しています。

また、執行機関が市民の意思を反映した行政を行っているかを監視するとともに、予算や条例などの議案や請願・陳情



傍聴 お待ちしております

※公営企業部長については、4月1日付で三好敏也新部長が新任されました。

創生3本の矢

ジオパークの展開とふるさと蘇生

地域産業活性化

人口減少克服

- ・平成27年3月19日に設置
- ・2班構成とする
- ・委員会 5回
- ・班会議 9回実施

ジオパークの展開とふるさと蘇生について

平成27年8月に富山県南砺市を視察。空き家対策及び移住・定住対策などを調査しました。

西予市でも空き家バンクの構築は勿論のこと、空き家を利用した移住体

験ハウスを海・里・山の各地に、まず一ヶ所ずつ設置することが望ましいとの結果となりました。

産業活性化について

平成27年10月に岐阜県東白川村から桂川アドバタイザーを招き、フオレス

タイトル「TV番組「夢の扉」で紹介された」の講演会を開催しました。その後、フオレスタイトル検討委員会を設立し平成28年1月に東白川村を調査しました。東濃ヒノキというブランド材を核に、行政が窓口となり、インターネットで注文を受け、建設関連業者にて施工されるシステムが構築されています。本市も良質産材に恵まれているという大きな共通点を活かし、シルクや和紙などの特産品なども取り入れた西予市版フオレススタイルを目指すべきとの結論となりました。また、米博リノベーション事業との連携に期待します。



東白川村森林組合(岐阜県)



野村支所周辺(Googleマップ)

野村支所周辺の再開について

創生委員会第二班では、J・A・郵便局・観光協会・商工会・商業協同組合・青年団と共に17名にて計4回の検討会を行い、オガールプロジェクトの勉強会をはじめ、17名全員による地図に描

た支所周辺のプレゼンテーションなどを行いました。

支所とJ・Aは複合施設とし、周囲にウォーキングコースの作成や、消防詰所を移動して郵便局との間の塀をなくすなど意見を集約し、市長に提案しました。

農林業視察IN山形

真室川町・庄司製材所社長に聞く

「補助金に頼ると失敗する」
庄司社長談

清風会と無名塾・公明クラブ8名は、平成27年9月28日〜30日までの3日間、山形県鶴岡市・遊佐町・真室川町にて、農林業に関する視察を行いました。

西予市は市の面積の約75%が森林であり、この資源を有効活用した町の活性化は重要な課題です。

「国内とヨーロッパ各地のバイオマス発電所を視察して分かったことがある。それは、日本ではバイオマス発電は絶対に採算的に成り立たないということだ。」

大きな問題として、材料の調達がある。今のままでは、国内の木質燃焼系バイオマス発電所は、早ければ5年以内に、遅くとも10年以内にはほとんどが失敗に終わるだろう。

事業の恩恵を受けたのは発電所建設に関わる事業者だけであり、負の部分はこのことから発電事業者が負うことになる。その



廃校を利用した事務所

「生きる」を西予市で 友志会

視察日程及び目的

平成28年2月26〜28日に静岡県三島市及び東京都八王子市・豊島区にて、観光振興と人権演劇誘致の可能性について視察を行いました。

視察内容

三島市では、平成27年12月に開業した三島スカイウォークを視察しました。民間主導型の事業と行政の協力体制ができており、観光振興について連携して取り組んでいます。

これから

「母の命を奪ったが、もう一度 母の子に生まれてほしい」福祉行政の限界と社会問題を考えるために、公演「生きる」を、西予市でも開演できるように誘致の取り組みを早急に行います。

ありがとう
豊島公会堂
メモリアル最終公演
豊島公会堂
開館記念

母の命を奪ったが、もう一度 母の子に生まれてほしい...

生きる
書・浜田光夫

平成28年2月28日(日)
場所:豊島公会堂
開演 13時30分 開演 14時30分
全席自由席 ¥6,000
※未成年者の入場はできません

田原総一郎氏
推薦

劇団 ZANGE 公演 Bunchi Takeru プロデュース